

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン 別売部品
 室外機応用制御基板 取付説明書
 TCB-PCOS1



EH99607901-K

[工事業者様用]

- このたびは東芝パッケージエアコン別売部品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- 取付の前にこの説明書をよくお読みになり、正しい取付を行ってください。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
 また、この取付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。

■対象室外機種群

A	ROA-AP404HS(J) ~ AP504HS(J), ROA-AP405HS(J) ~ AP565HS(J), ROA-AP405HS(J)1 ~ AP565HS(J)1, ROA-AP406HS(J) ~ AP566HS(J), ROA-AP404H(J) ~ AP634H(J), ROA-AP804H, ROA-AP405H(J) ~ AP635H(J), ROA-AP805H, ROA-AP407HS(J) ~ AP567HS(J), ROA-AP407(J) ~ AP567(J)
B	ROA-AP564HS(J) ~ AP804HS(J), ROA-AP1124H ~ AP1604H
C	ROA-AP1124HS ~ AP1604HS
D	ROA-AP1125H ~ AP1605H
E	ROA-AP1406HS, AP1606HS, ROA-RP801HX(J), ROA-RP1121HX ~ RP1601HX, ROA-AP1127H ~ AP1607H, ROA-AP1127 ~ AP1607, ROA-AP1407HS, AP1607HS, ROA-RP802HX(J), ROA-RP1122HX ~ RP1602HX, ROA-RP1123HS ~ RP1603HS, ROA-RP1123 ~ RP1603, ROA-RP803HX(J), ROA-RP1123HX ~ RP1603HX, ROA-HRP801HS ~ HRP1601HS ROA-RP1121H ~ RP1601H, ROA-RP1123HS-W ~ RP1603HS-W, ROP-CRP41HD, CRP51HD, ROA-RP1124HS ~ RP1604HS, ROA-RP1122H
F	ROA-AP2246HS, AP2806HS, ROP-AP2246HS, AP2806HS, ROA-AP2247HS, AP2807HS, ROA-RP2243HS, RP2803HS, ROA-RP2243HX, RP2803HX, ROP-CRP81HD, CRP101HD
G	ROA-AP637H(J), AP807H(J), ROA-AP637(J), AP807, ROA-RP633HS(J), RP803HS(J), ROA-RP633(J), RP803(J) ROA-RP801H(J), ROA-RP563HX(J), RP633HX(J), ROA-RP803HS-W, ROP-CRP31HD
H	ROA-RP403HS(J) ~ RP563HS(J), ROA-RP634HS(J), ROA-RP403(J) ~ RP563(J) ROA-RP631H(J), ROA-RP403HX(J) ~ RP503HX(J), ROP-CRP21HD

■構成部品

構成部品	同梱数量	対象室外機種群								備考
		A	B	C	D	E	F	G	H	
夜間低騒音・デマンド用ケーブル (黄コネクタ: 5 芯)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	必要に応じて使用してください。
コンプ運転出力用ケーブル (青コネクタ: 2 芯)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
室外機応用制御基板	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
室外機接続ケーブル電源用 (赤コネクタ (大): 2 芯)	1	1	-	-	1	1	1	1	1	
室外機接続ケーブル BUS 用 (青コネクタ: 5 芯)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
応用制御基板 コネクタ間接続用 (赤コネクタ (小): 2 芯)	1	-	1	1	-	-	-	-	-	
トランス	1	1	-	-	1	1	1	1	1	
応用制御基板取付板A	1	1	-	-	-	-	-	1	-	
取付板カバー	1	1	-	-	-	-	-	1	1	
応用制御基板取付板B	1	-	1	1	-	-	-	-	1	
応用制御基板取付板C	1	-	-	-	1	-	-	-	-	
スペーサ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
クランプ	1	1	1	1	-	-	-	-	1	
トランス用固定ねじ (M3 × 6L)	2	2	-	-	2	2	2	2	2	
カバー・取付板用固定ねじ (M4 × 8L)	4	4	2	2	-	-	-	4	4	
結束バンド	4	2	1	1	2	2	4	2	1	
電気部品カバー組立	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
取付説明書 (本紙)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
③中継コネクタ A	1	-	-	-	-	-	1	-	-	

用途	<ul style="list-style-type: none"> ●デマンド制御…………… 外部からのデマンド信号により室外機の能力をセーブし、一時的なピークカットに対応します。 ……能力セーブの切り換えは75%, 50%, 運転停止の3段階です。 ●夜間低騒音…………… 市販タイマー (現地手配) の入力により外気温、負荷に関係なく能力を低下させ運転音を低減します。 ●コンプ運転出力…………… コンプ運転時、無電圧の接点出力をONします。
----	--

安全上のご注意

- 取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定される内容”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容”を示します。

図記号	図記号の意味
	強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

- *1: 重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- *2: 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- *3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

 **警告**

- 取付は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼すること
ご自分で据付工事をされて不備があると、感電や火災の原因になります。
- 取付工事は、この取付説明書に従って確実にすること
取付に不備があると、感電や火災の原因になります。
- 再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼すること
取付に不備があると、感電や火災の原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」およびこの取付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用すること
また、電圧は製品の定格電圧と合わせること
電源回路容量不足や施工に不備があると、感電や火災の原因になります。



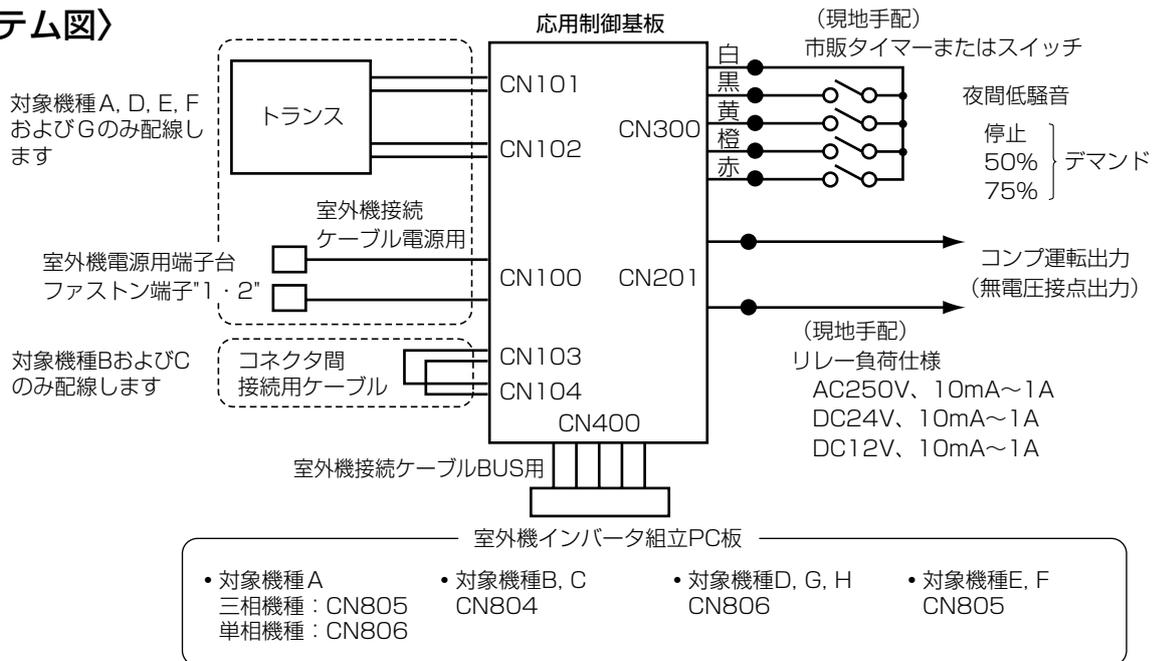
 **注意**

- 配線は、正しい電流容量の配線で工事すること
漏電や発熱・火災の原因になります。
- 配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないようにすること
断線したり、発熱・火災の原因になります。
- 基板本体に無理な力を加えないこと
折れ・はがれ・断線が発生し、発熱・火災の原因になります。




■取付方法

〈システム図〉



■部品の組立方法および室外機への組込方法 (対象機種 A)

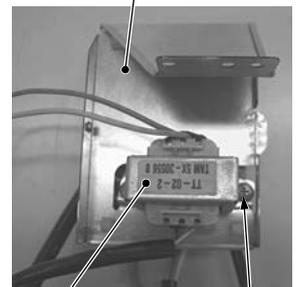
室外機応用制御基板の組み立て

- (1) 応用制御基板取付板Aの裏側にトランスをトランス用M3固定ねじ (2本) で取り付けます。
- (2) 応用制御基板取付板Aの表側にスペーサ (4個) と応用制御基板を取り付けます。
- (3) トランスのリード線 (2種類) を応用制御基板のCN101とCN102に接続します。

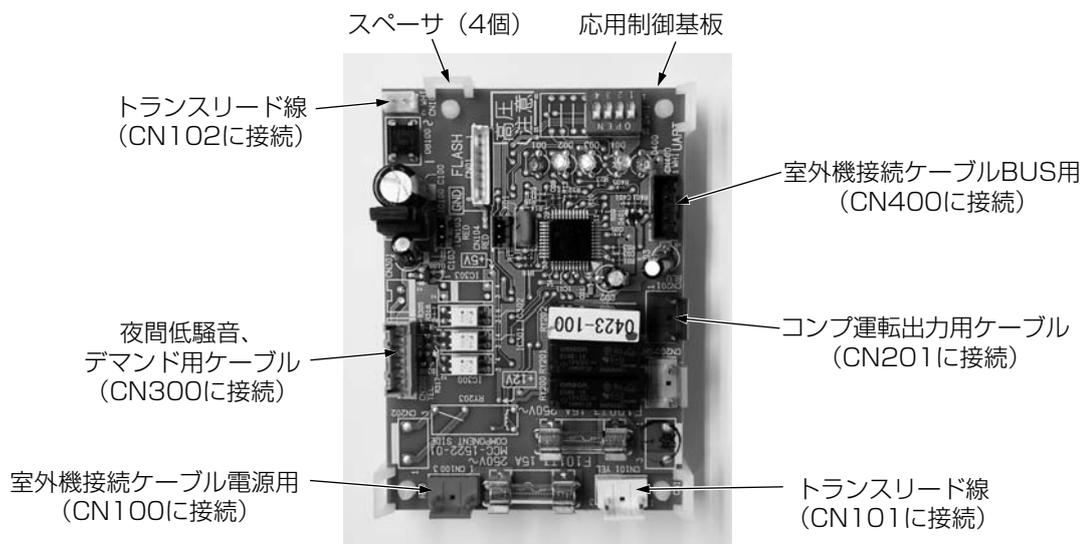
また、室外機接続ケーブル電源用 (2芯) をCN100、室外機接続ケーブルBUS用 (5芯) をCN400に接続します。

夜間低騒音、デマンド用およびコンプ運転出力用ケーブルを接続する場合は、取付方法のシステム図を参照して接続してください。

応用制御基板取付板A



トランス M3固定ねじ (2本)



⚠注意 配線は挟み込みがないようにする
断線したり、発熱・発火の原因になります。

取付板カバー M4固定ねじ (2本)



配線は切り欠き部より取り出すこと

- (4) 取付板カバーを応用制御基板取付板AにM4固定ねじ (2本) で取り付けます。
配線は取付板カバーの切り欠き部から取り出し、挟み込みのないように注意してください。

室外機への取り付け

- (1) 天板を取りはずします。
- (2) 前面パネルを取りはずします。
- (3) パックダブルブカバーを取りはずします。
- (4) インバータ配線蓋を取りはずします。
(右の写真の配線蓋固定用ツメ部をはずします)
(ROA-AP407 (J) ~ AP567 (J) はインバータ配線蓋がありません)

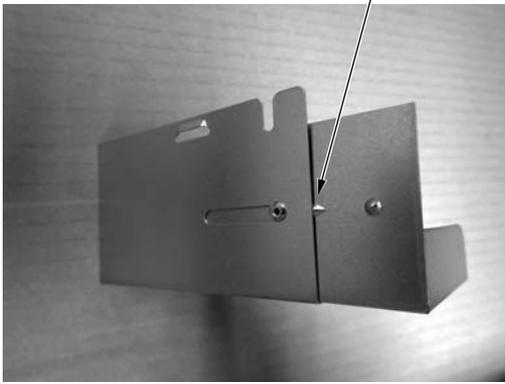


配線蓋固定用
ツメ部をはずします

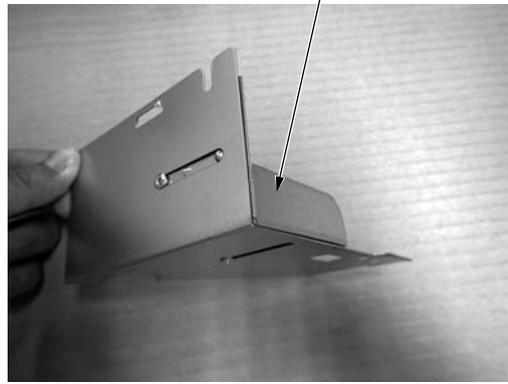
インバータ配線蓋

- (5) はずした配線蓋のロック部を解除し、スライドさせて配線蓋を短くします。

配線蓋ロック部を
解除します



スライドさせて
配線蓋を短くします



- (6) インバータから出ている配線を処理し、結束バンド（1本）で留めます。



配線を結束バンド（1本）
で留めます

(7) 応用制御基板組立をインバータ組立の板金にM 4固定ねじ（2本）で取り付けます。

(8) 室外機電源端子台カバーを取りはずし、室外接続用ケーブル電源用（2芯）を端子台“1・2”のファストン端子に接続します。



応用制御基板組立 室外機接続ケーブル電源用を
室外機電源端子台のファストン端子“1, 2”に接続します

(9) 室外接続用ケーブルBUS用（5芯）をインバータ組立のPC板に接続します。

●三相機種はPC板のCN805、単相機種はCN806に接続します。



(10) 配線を挟み込まないよう、結束バンドで配線を結束します。

(11) インバータ配線蓋を取り付けて、前面パネル、天板を取り付けます。



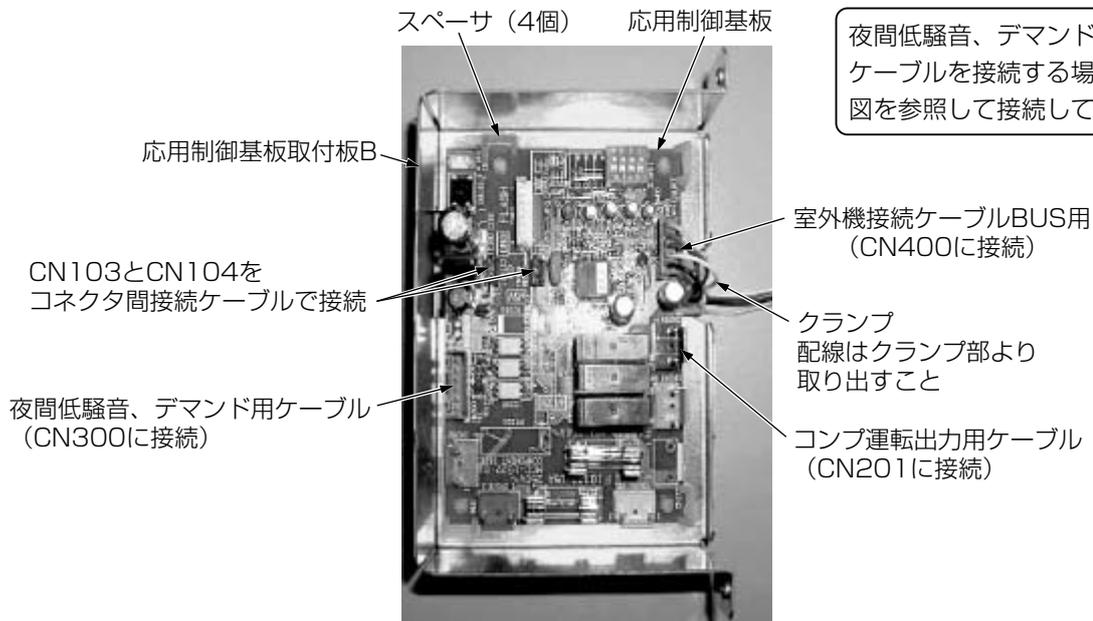
インバータ配線蓋を
取り付けます

■ 部品の組立方法および室外機への組込方法（対象機種BおよびC）

室外機応用制御基板の組み立て

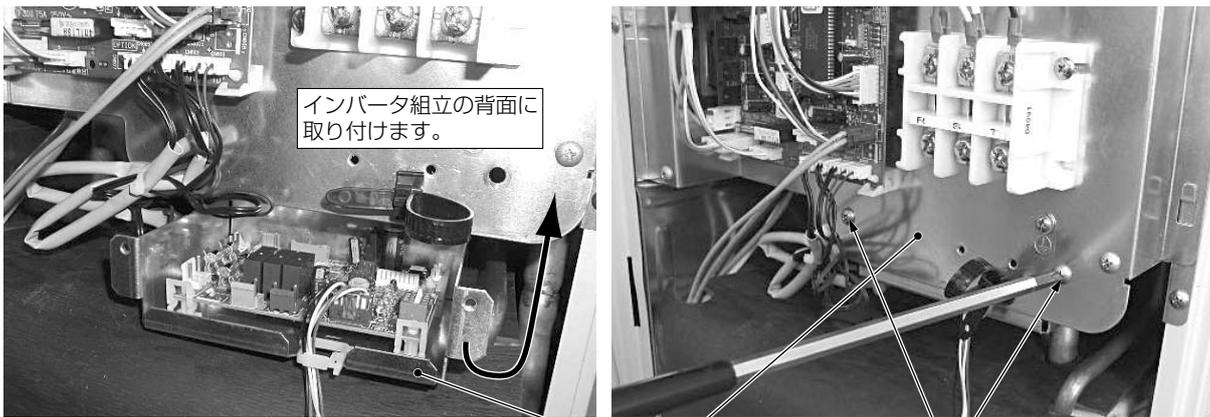
- (1) 応用制御基板取付板Bにクランプを取り付けます。
- (2) 応用制御基板取付板Bの表側にスペーサ（4個）と応用制御基板を取り付けます。
- (3) 室外機接続ケーブルBUS用（5芯）をCN400に接続します。
配線は取付板のクランプ部から取り出し、挟み込みがないよう注意してください。

⚠ 注意 配線は挟み込みがないようにする
断線したり、発熱・発火の原因になります。



室外機への取り付け（対象機種Bの場合）

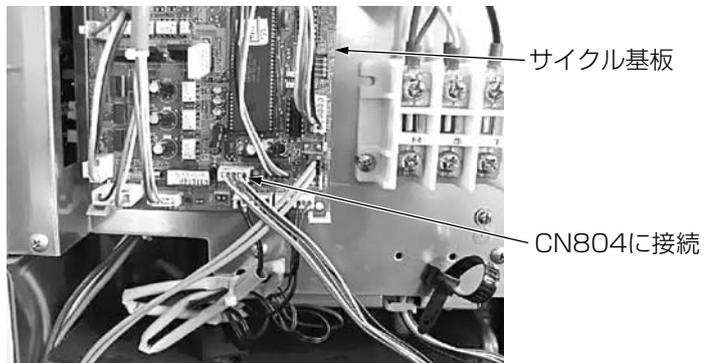
- (1) 前面パネルを取りはずします。
- (2) 応用制御基板組立をインバータ組立の板金にM4固定ねじ（2本）で取り付けます。



応用制御基板組立

M4固定ねじ（2本）

- (3) 室外接続用ケーブルBUS用（5芯）をサイクル基板のCN804に接続します。
- (4) 配線を挟み込まないように、結束バンドで配線を結束します。
- (5) 前面パネルを取り付けます。

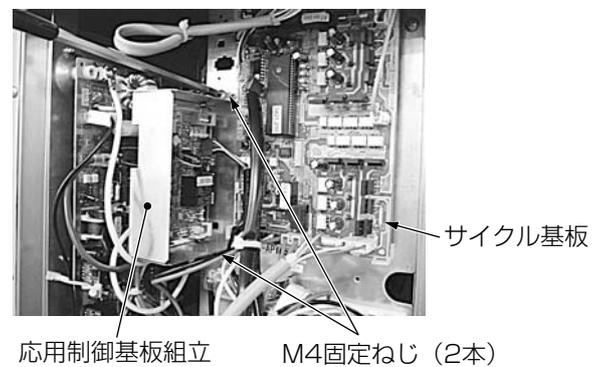


サイクル基板

CN804に接続

室外機への取り付け（対象機種Cの場合）

- (1) 前面パネルを取りはずします。
- (2) 応用制御基板組立をインバータ組立の板金にM4固定ねじ（2本）で取り付けます。

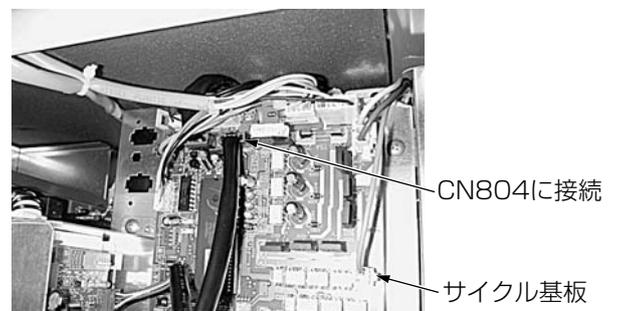


サイクル基板

応用制御基板組立

M4固定ねじ（2本）

- (3) 室外接続用ケーブルBUS用（5芯）をサイクル基板のCN804に接続します。
- (4) 配線を挟み込まないように、結束バンドで配線を結束します。
- (5) 前面パネルを取り付けます。



CN804に接続

サイクル基板

■ 部品の組立方法および室外機への組込方法（対象機種D）



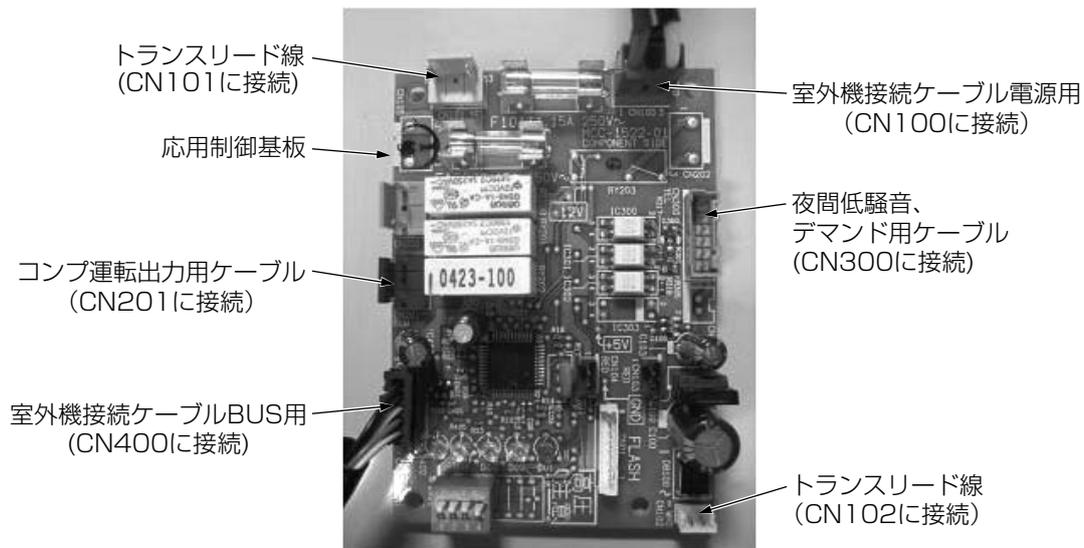
取付作業時は必ず電源を切ること

充電部に接触して感電するおそれがあります。

室外機応用制御基板の組み立て

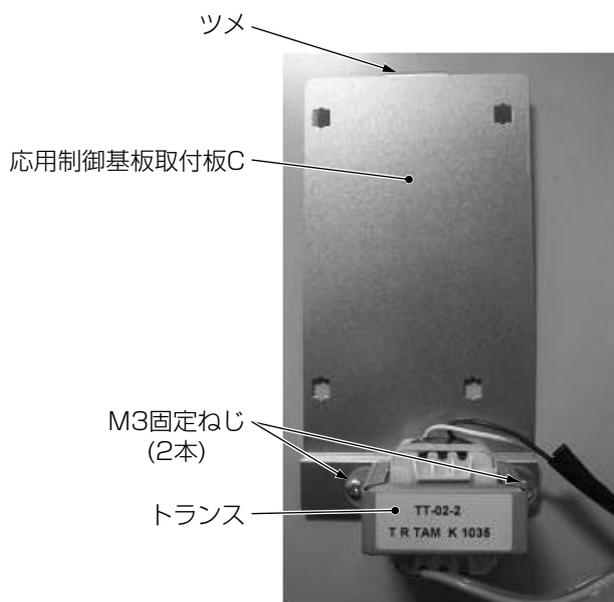
(1) 室外機接続ケーブル電源用(2芯)をCN100、室外機接続ケーブルBUS用(5芯)をCN400に接続します。

夜間低騒音、デマンド用およびコンプ運転出力用ケーブルを接続する場合は、取付方法のシステム図を参照して接続してください。



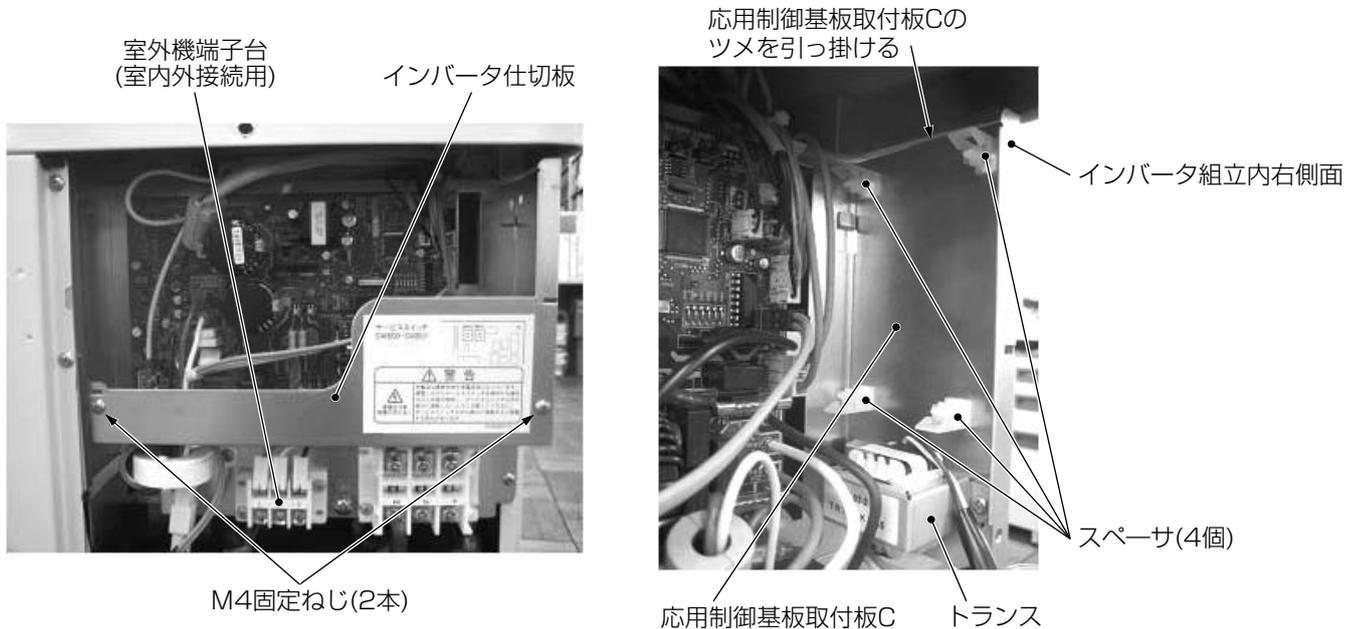
応用制御基板取付板とトランスの組み立て

(1) 応用制御基板取付板Cにトランスをトランス用M3固定ねじ(2本)で取り付けます。



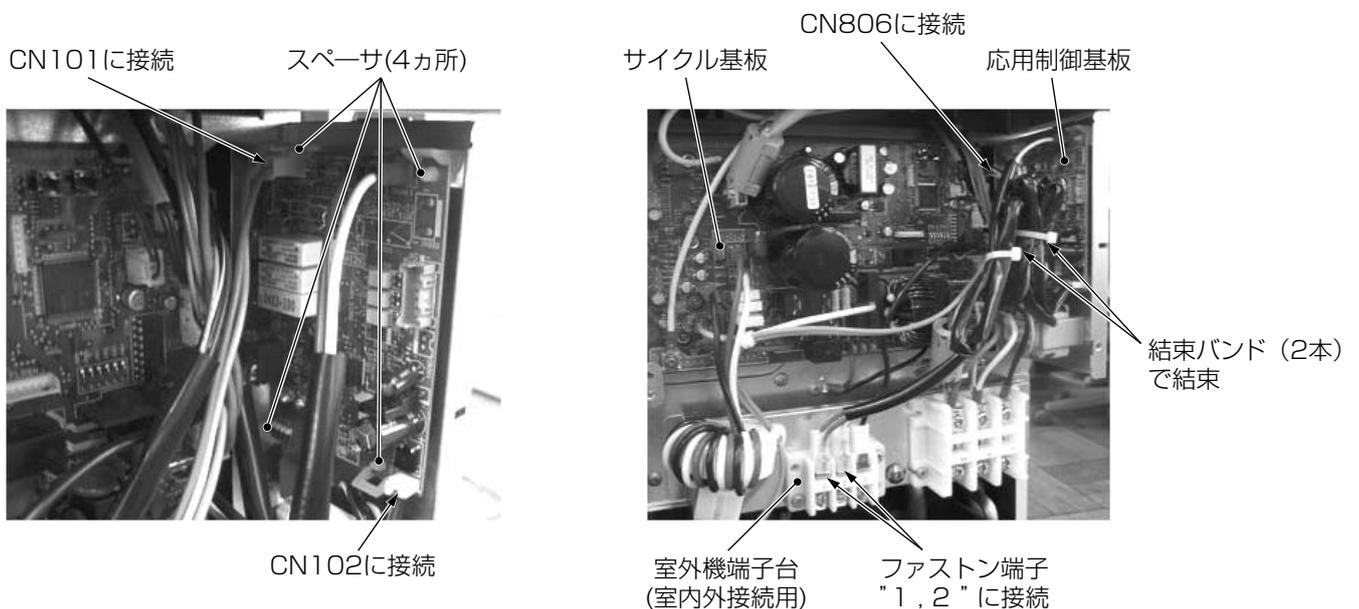
室外機への取り付け

- (1) 前面パネルを取りはずします。
- (2) インバータ組立のインバータ仕切板を取りはずします[M4固定ねじ(2本)]。
- (3) インバータ組立内右側面上部に应用制御基板取付板Cのツメを引っ掛けます。
- (4) インバータ組立内右側面にスペーサ(4個)で应用制御基板取付板Cを固定します。
このときスペーサ(4個)が確実に应用制御基板取付板Cとインバータ組立の両方に固定されていることを確認してください。



- (5) スペーサ(4カ所)に应用制御基板を取り付けます。
- (6) トランスのリード線(2種類)を应用制御基板のCN101とCN102に接続します。
- (7) 室外機接続ケーブルBUS用(5芯)をサイクル基板のCN806に接続します。
- (8) 室外機接続ケーブル電源用(2芯)を室外機端子台(室内外接続用) " 1, 2 " のファストン端子に接続します。
このときファストンが確実にファストン端子に接続されていることを確認してください。
- (9) 各配線をインバータ組立内に収まるように結束バンド(2本)で結束してください。
- (10) インバータ仕切板をM4固定ねじ(2本)で取り付けます。このとき配線の挟み込みに十分注意してください。
- (11) 前面パネルを取り付けます。

注意 配線は挟み込みがないようにする
断線したり、発熱・発火の原因になります。



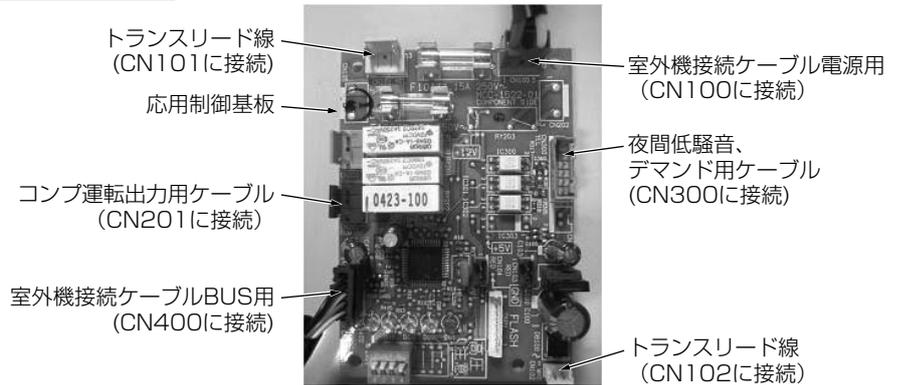
■ 部品の組立方法および室外機への組込方法 (対象機種E)

警告 取付作業時は必ず電源を切ること
充電部に接触して感電するおそれがあります。

室外機応用制御基板の組み立て

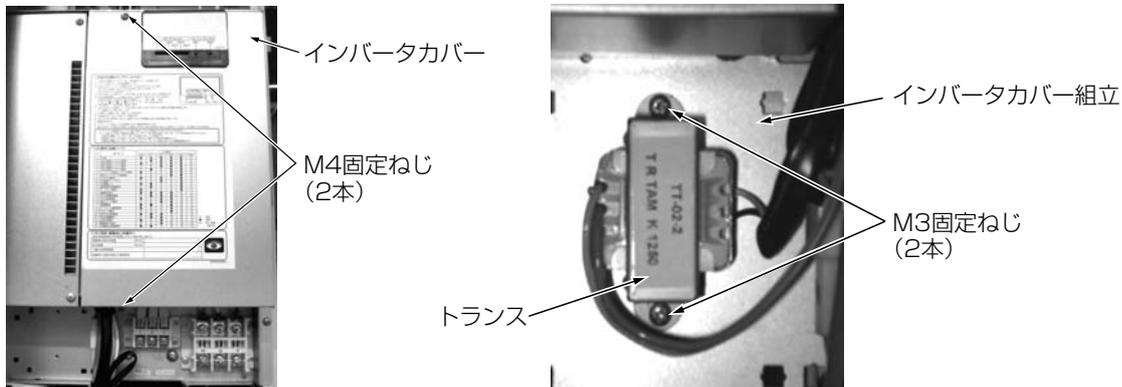
- (1) 室外機接続ケーブル電源用(2芯)をCN100、室外機接続ケーブルBUS用(5芯)をCN400に接続します。

夜間低騒音、デマンド用およびコンプ運転出力用ケーブルを接続する場合は、取付方法のシステム図を参照して接続してください。

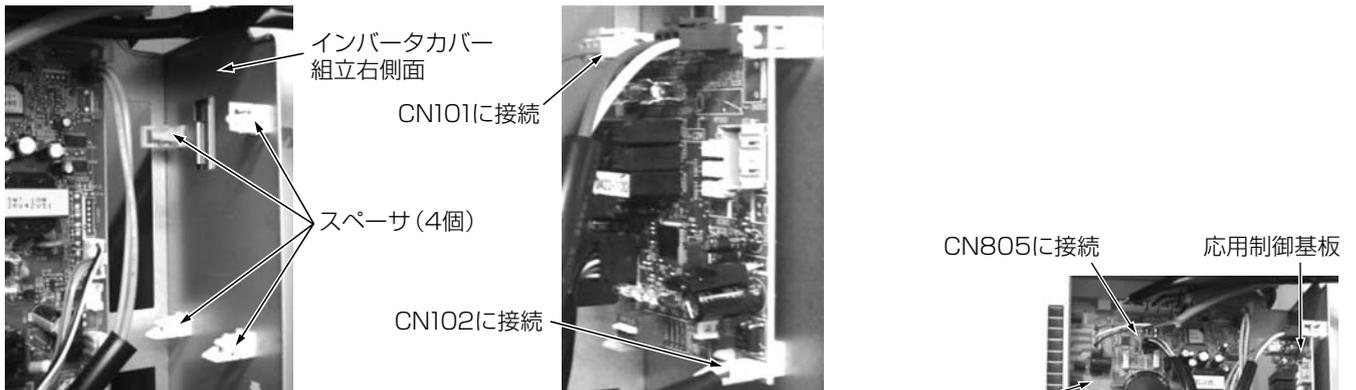


室外機への取り付け

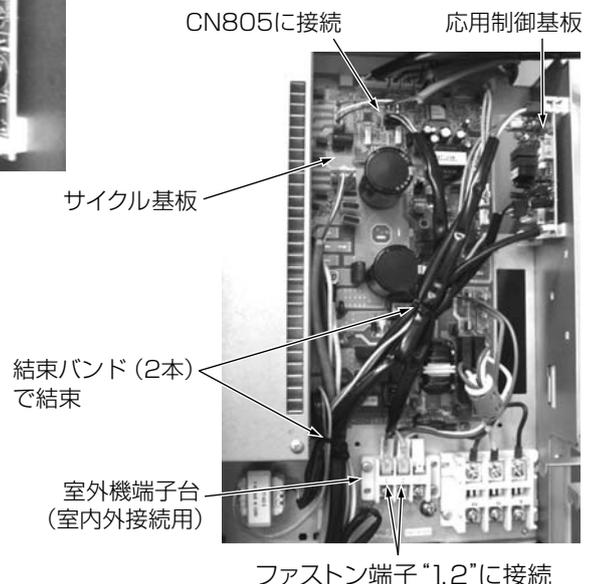
- (1) 前面パネルを取りはずします。
 (2) インバータ組立のインバータカバーを取りはずします。[M4固定ねじ(2本)]
 (3) インバータ組立正面左下にトランスをトランス用M3固定ねじ(2本)で取り付けます。



- (4) インバータ組立右側面にスペーサ(4個)を固定します。
 (5) スペーサ(4カ所)に応用制御基板を取り付けます。
 (6) トランスのリード線(2種類)を応用制御基板のCN101とCN102に接続します。



- (7) 室外機接続ケーブルBUS用(5芯)をサイクル基板のCN805に接続します。
 (8) 室外機接続ケーブル電源用(2芯)を室外機端子台(室内外交続用)“1,2”のファストン端子に接続します。このときファストンが確実にファストン端子に接続されていることを確認してください。
 (9) 各配線をインバータ組立内に収まるように結束バンド(2本)で結束してください。
 (10) インバータカバーをM4固定ねじ(2本)で取り付けます。このとき配線の挟み込みに十分注意してください。
 (11) 前面パネルを取り付けます。



注意 配線は挟み込みがないようにする
断線したり、発熱・発火の原因になります。

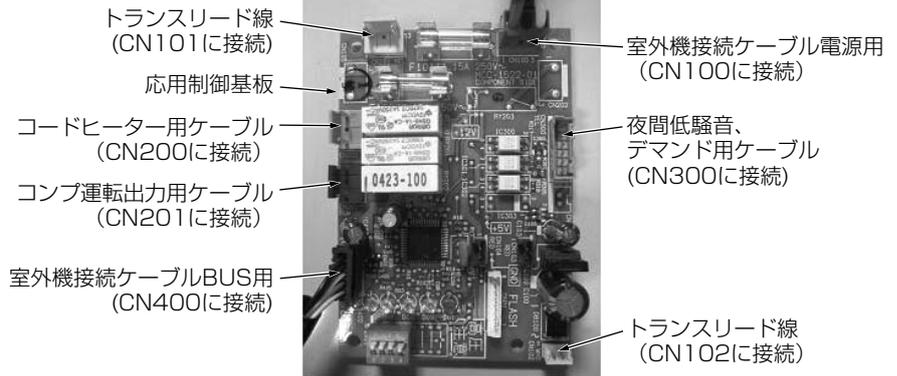
■ 部品の組立方法および室外機への組込方法 (対象機種F)

警告 取付作業時は必ず電源を切ること
充電部に接触して感電するおそれがあります。

室外機応用制御基板の組み立て

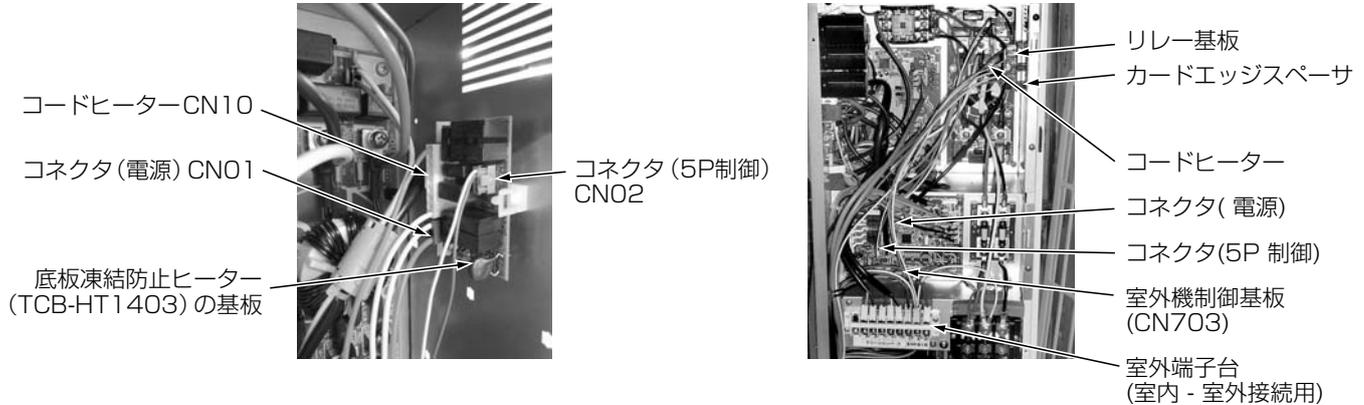
(1) 室外機接続ケーブル電源用(2芯)をCN100、室外機接続ケーブルBUS用(5芯)をCN400に接続します。

夜間低騒音、デマンド用およびコンプレッサ出力用ケーブルを接続する場合は、取付方法のシステム図を参照して接続してください。

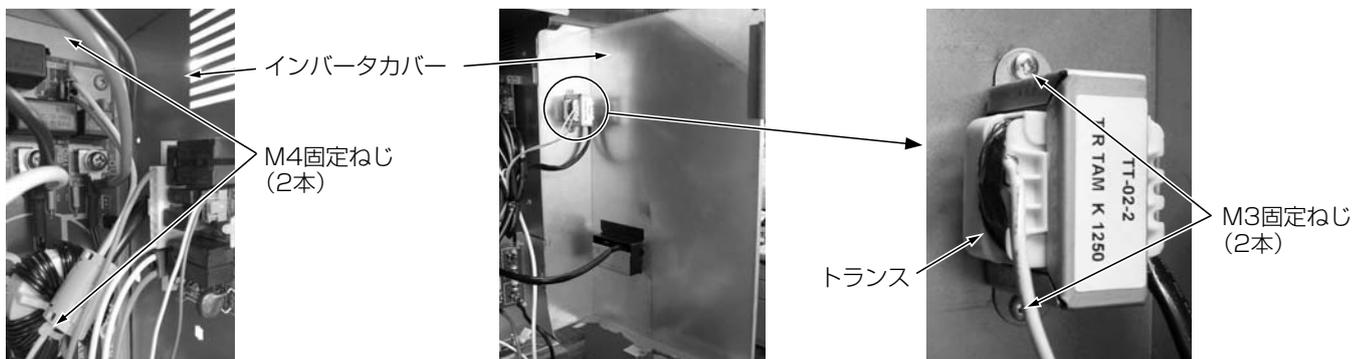


室外機への取り付け

- (1) 前面パネルを取りはずします。
 - (2) インバータ組立のインバータカバーを取りはずします。[M4固定ねじ(2本)]
 - (3) 底板凍結防止ヒーター (TCB-HT1403) の基板が付いている場合：
 - ※ 底板凍結防止ヒーター (TCB-HT1403) の基板が付いていない場合は本作業は不要です。
 - ・天板と右キャビネットを取りはずします。
 - ・コネクタ (電源) のリード線 (赤と白) を底板凍結防止ヒーター基板と室外端子台 (室内-室外接続用) から取りはずします。
 - ・コネクタ (5P制御) を底板凍結防止ヒーター基板と室外制御基板のCN703から取りはずします。
 - ・コードヒーターのコネクタを底板凍結防止ヒーター基板から、取りはずします。
 - ・スペーサ (3個) と一緒に底板凍結防止ヒーター基板を取りはずします。
- 取りはずしたコネクタ (電源)、コネクタ (5P制御)、底板凍結防止ヒーター基板は、お客様で保管いただくように依頼してください。



(4) インバータカバー裏側面にトランスをトランス用M3固定ねじ (2本) で取り付けます。

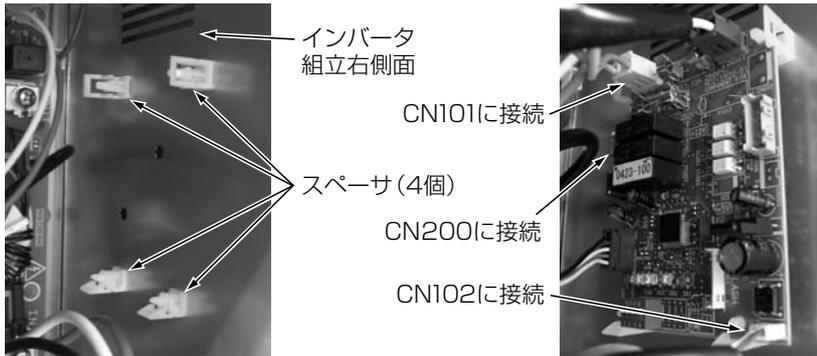


(5) インバータ組立右側面にスペーサ (4個) を固定します。

(6) スペーサ (4カ所) に応用制御基板を取り付けます。

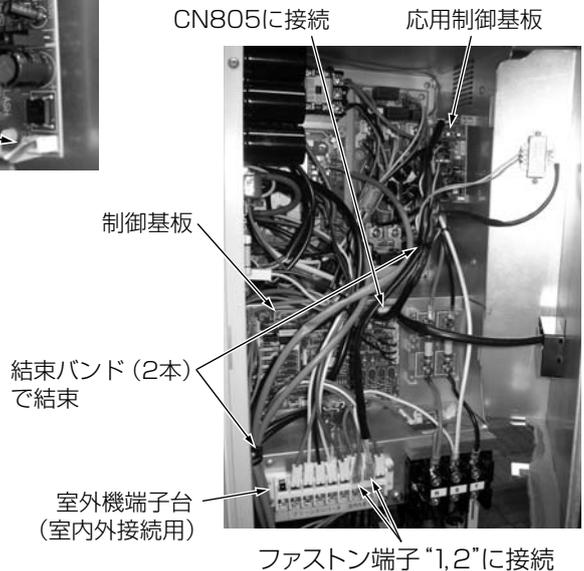
■ 部品の組立方法および室外機への組込方法（対象機種F）（つづき）

(7) トランスのリード線（2種類）を応用制御基板のCN101とCN102に接続します。



(8) 室外機接続ケーブルBUS用（5芯）を制御基板のCN805に接続します。

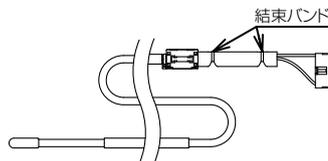
(9) 室外機接続ケーブル電源用（2芯）を室外機端子台（室内外交続用）“1,2”のファストン端子に接続します。
このときファストンが確実にファストン端子に接続されていることを確認してください。



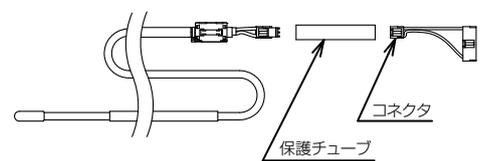
(10) 底板凍結防止ヒーター（TCB-HT1403）の基板取りはずし作業（3）を行った場合、コードヒーターはそのまま取付ができませんので以下の作業を実施し、応用制御基板のCN200に接続します。
※底板凍結防止ヒーター（TCB-HT1403）の基板取りはずし作業（3）を行っていない場合は、本作業は不要です。

コードヒーターの中継コネクタ付替え

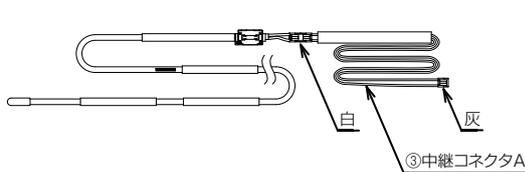
1. コードヒーターの結束バンドを切断してください。



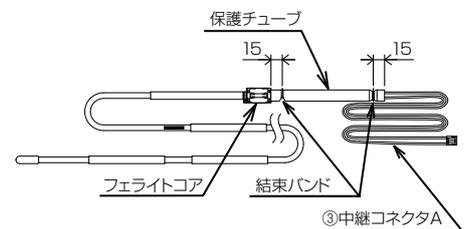
2. コネクタをはずし、保護チューブをはずしてください。



3. ③中継コネクタAを取り付けてください。



4. 保護チューブをフェライトコアに付き当てて、下図の位置に結束バンド（2個）で固定してください。
結束バンドで固定する時、保護チューブの中のコネクタストッパーがはずれていないこと。



(11) 各配線をインバータ組立内に収まるように結束バンド（2本）で結束してください。

(12) インバータカバーをM4固定ねじ（2本）で取り付けます。このとき配線の挟み込みに十分注意してください。

(13) 前面パネルを取り付けて、完了となります。

※底板凍結防止ヒータ基板（TCB-HT1403）取りはずし作業（3）を行った場合は前面パネル取り付けの前に天板と右キャビネットを取り付けてください。



注意 配線は挟み込みがないようにする

断線したり、発熱・発火の原因になります。

■ 部品の組立方法および室外機への組込方法（対象機種G）

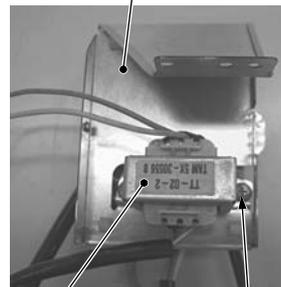
室外機応用制御基板の組み立て

- (1) 応用制御基板取付板Aの裏側にトランスをトランス用M3固定ねじ（2本）で取り付けます。
- (2) 応用制御基板取付板Aの表側にスペーサ（4個）と応用制御基板を取り付けます。
- (3) トランスのリード線（2種類）を制御基板のCN101とCN102に接続します。

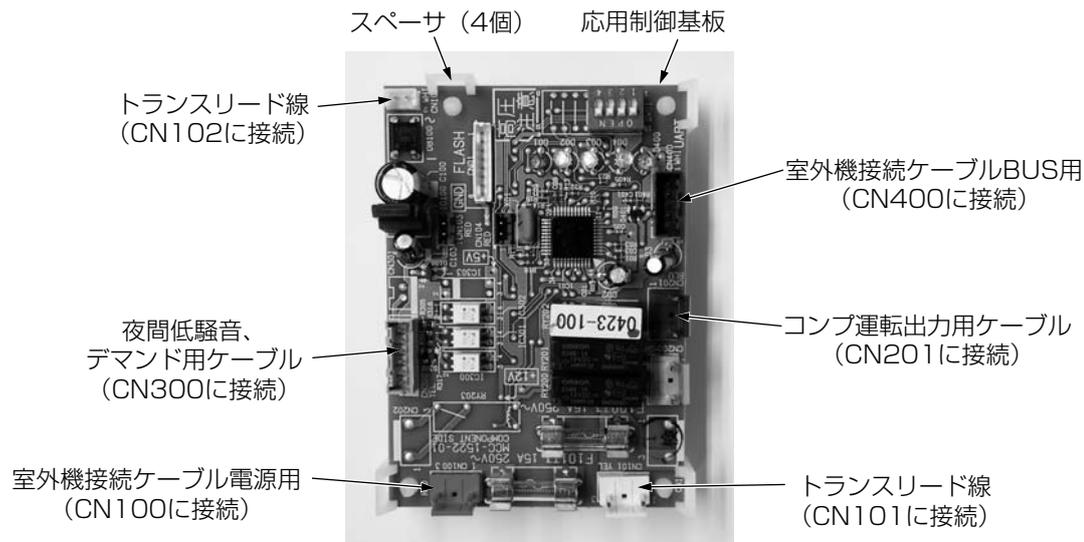
また、室外機接続ケーブル電源用（2芯）をCN100、室外機接続ケーブルBUS用（5芯）をCN400に接続します。

夜間低騒音、デマンド用およびコンプ運転出力用ケーブルを接続する場合は、取付方法のシステム図を参照して接続してください。

応用制御基板取付板A



トランス M3固定ねじ（2本）



取付板カバー M4固定ねじ（2本）



配線は切り欠き部より取り出すこと



注意 配線は挟み込みがないようにする

断線したり、発熱・発火の原因になります。

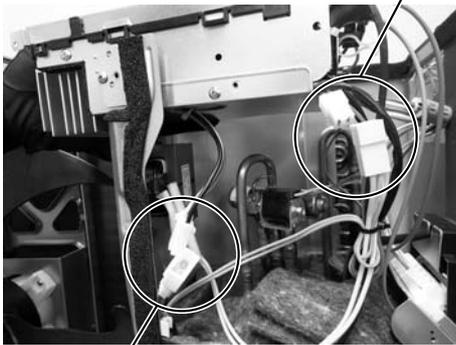
- (4) 取付板カバーを応用制御基板取付板AにM4固定ねじ（2本）で取り付けます。
配線は取付板カバーの切り欠き部から取り出し、挟み込みのないように注意してください。

■ 部品の組立方法および室外機への組込方法（対象機種G）（つづき）

室外機への取り付け

- (1) 天板を取りはずします。
- (2) 前キャビネットを取りはずします。
- (3) パックドバルブカバーを取りはずし、配線蓋も取りはずします。
- (4) 室外機電源端子台とインバータ組立を繋ぐリード線をコードクランプからはずします。
- (5) コンプレッサとリアクタのリード線接続コネクタをはずします。

リアクタのリード線接続コネクタ



コンプレッサのリード線接続コネクタ

- (6) インバータ組立を仕切板に固定している固定ねじ（2本）をはずします。
- (7) 配線カバーを取りはずします。
- (8) 室外機接続用ケーブル電源用（2芯）を室外機電源端子台の“1、2”のファストン端子に接続します。



室外機接続ケーブル電源用を
室外機電源端子台のファストン端子“1、2”に接続

- (9) 室外機接続用ケーブルBUS用（5芯）をインバータ組立の基板（CN806）に接続します。

CN806に接続



- (10) 配線カバーのツメ（2カ所）をインバータ組立に差し込み、応用制御基板組立を配線カバーにM4固定ねじ（2本）で取り付けます。
※ねじ締め付け時に、固定ねじ等でリード線を傷つけないようご注意ください。

配線カバー

応用制御基板組立



M4ねじ（2本）で固定

- (11) 配線カバーをインバータ組立にねじ固定します。
- (12) 室外機電源端子台とインバータ組立を繋ぐリード線が周囲とぶつからないよう結束バンドで束ねます。

リード線が周囲とぶつからないよう
結束バンドで束ねる



- (13) 応用制御基板組立のリード線を結束バンドで束ねます。



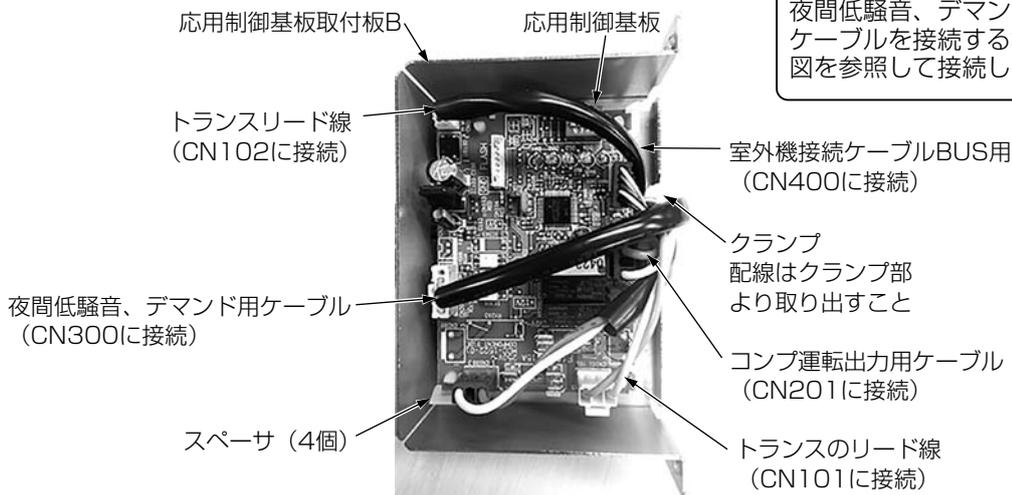
リード線を結束バンドで束ねる

- (14) 配線カバーをインバータ組立に取り付け、(5)ではずした接続コネクタ（2個）を繋ぎます。
- (15) 前キャビネットを取り付けます。
- (16) 天板を取り付けます。
- (17) 配線蓋を取り付け、パックドバルブカバーを取り付けます。

■ 部品の組立方法および室外機への組込方法（対象機種H）

室外機応用制御基板の組み立て

- (1) 応用制御基板Bにクランプを取り付けます。
- (2) 応用制御基板取付板Bの表側にスペーサ（4個）と応用制御基板を取り付けます。
- (3) トランスのリード線（2種類）を応用制御基板のCN101とCN102に接続します。
また、室外機接続ケーブル電源用（2芯）をCN100、室外機接続ケーブルBUS用（5芯）をCN400に接続します。

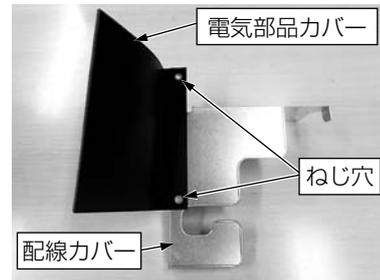


夜間低騒音、デマンド用およびコンプレッサ運転出力用ケーブルを接続する場合は、取付方法のシステム図を参照して接続してください。

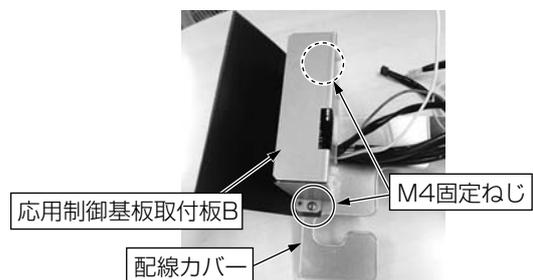
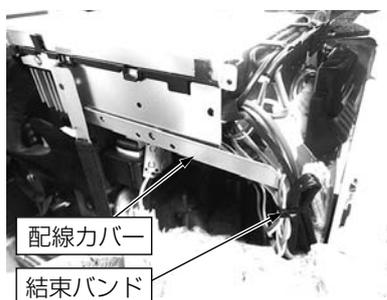
⚠ 注意 配線は挟み込みがないようにする
断線したり、発熱・発火の原因になります。

室外機への取り付け

- (1) 天板を取りはずします。
- (2) 前キャビネットを取りはずします。
- (3) パックドバルブカバーを取りはずします。
- (4) インバータ組立を仕切板に固定している固定ねじと配線カバーを固定している固定ねじをはずします。
- (6) 電気部品カバー組立のテープ被覆をはがし、配線カバーの穴位置に合わせて写真のように貼り付ける。（仮固定）

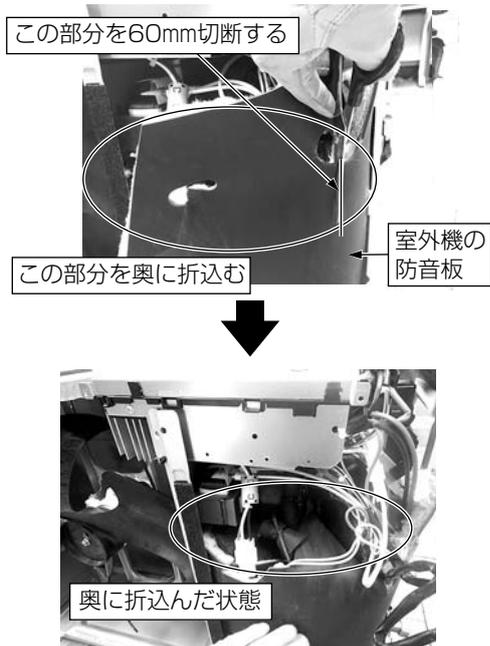


- (5) インバータ組立のリード線を束ねている結束バンドを切断し、配線カバーを取りはずします。
- (7) 室外機応用制御基板を取り付けて配線した応用制御基板取付板Bを配線カバーにM4固定ねじ（2本）で取り付ける。



■ 部品の組立方法および室外機への組込方法（対象機種H）（つづき）

- (8) 室外機の防音板を写真の位置（右切込み穴のセンサー）で、はさみで60mm切断し防音板の前側上部を奥に折込む。



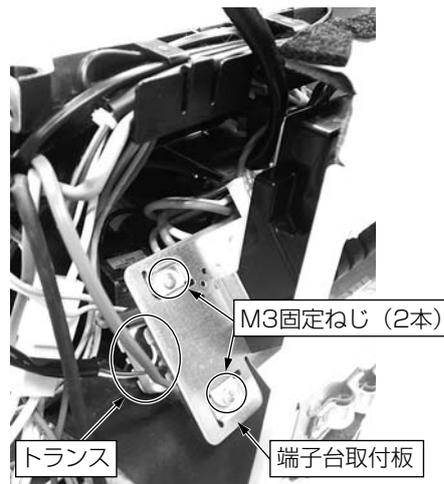
- (9) 室外接続用ケーブルBUS用(5芯)をインバータ組立の基板(CN806)に接続します。



- (10) 室外接続用ケーブル電源線(2芯)を室外機電源端子台の"1", "2"のファストン端子に接続します。



- (11) 端子台取付板の切込みにトランスを差し込み、トランス用M3固定ねじ(2本)で取り付けます。



- (12) 室外機応用制御基板組立を取り付けた配線カバーをインバータ組立にM4固定ねじ(1本)で取り付ける。配線を写真の位置で結束バンドで束ねる



- (13) インバータ組立を仕切板にM4固定ねじで固定する。
 (14) 前キャビネットを取り付けます。
 (15) 天板を取り付けます。
 (16) パックドバルブカバーを取り付けます。

東芝キャリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地